

## 文学部 3大プロジェクト研究の成果報告書

文学部第1期中期計画(2004-2009)における3大プロジェクト(共同研究)

### ①日本文化の固有性の探求

日本文化を文学・歴史・芸術・思想等の諸領域にわたる総体として捉え、諸外国文化との比較を通して固有性を探求する。

### ②空間情報科学による人文科学研究

地理情報システムなどの空間情報科学を用いて、歴史学や考古学をはじめとする人文科学研究を推進する。

### ③ジェンダーに関する学際的研究

ジェンダーの多様性・普遍性・可変性を多角的に分析し、独自のジェンダー教育プログラムの立案を含む学際的研究を行う。

文学部教員30名ほどが参加、毎年さまざまな研究、教育、社会連携活動を行っている。

2007年度「人文学フロンティア2007」(昨年5月記者発表)

☆揺らぎのなかの日本文化(10月) 連続シンポジウム(3回) 岡山大学

☆デジタル歴史考古学(6月) 連続講座(4回) デジタルミュージアム

☆ジェンダー教育ってなに?(8月・12月) 講座、講演(2回) 岡山大学

それぞれ市民も参加し100名-200名の規模でシンポジウムなどが活発に行われた。

## 2007年度に公刊された文学部プロジェクト研究、人文学フロンティア2007の成果報告書 (一部)

- 『揺らぎの中の日本文化—能楽を中心に—』  
世阿弥をめぐる問題を中心に日本文化を探究したシンポジウム  
(2007年3月)の報告書
- 『時空間情報科学を用いた歴史研究の刷新』(右は表紙)  
気候変動と歴史、コンピュータ上での仮想備中国図の復元、  
(GPSやレーザーを用いた)古墳・遺物の3次元計測など
- 『岡山大学生のジェンダー意識に関する調査』報告書  
ジェンダー意識の揺れ:夫婦別姓、家事育児の分担、  
将来に対する強い不安、  
フリーターに対する否定的態度など

問い合わせ先:文学部長 辻 086-251-7449

